



中間貯蔵施設用地の状況

概要

- 中間貯蔵施設区域は約1,600haであり、予定地内の登記記録人数は2,360人となっています。
- 地権者との信頼関係はもとより、中間貯蔵施設事業への理解が何よりも重要であると考えており、引き続き、地権者への丁寧な説明を尽くしながら取り組みます。

中間貯蔵施設用地の状況について

2020年3月末時点

- 用地取得については、3月末時点で契約者数1,759人、面積約1,164haについて契約しております。

全体面積	項目	全体面積に対する面積と割合	全体登記記録人数(2,360人※1)に対する人数と割合
約1,600ha	地権者連絡先把握済み	約1,560ha※1 97.5%	約1,960人※1 83.1%
民有地 約1,270ha (約79%)	うち民有地 約1,122ha (+4.9ha)	計 約1,164ha (+7.2ha) 72.8%	1,759人※2 (+7人) 74.5%
公有地 約330ha (約21%)	うち公有地 約42ha (+2.3ha)		
	その他の公有地 次を含む。 ①道路・水路等のように今後も元々の機能を維持する町有地、県有地、国有地等 ②事業の進展を踏まえつつ、必要に応じて、中間貯蔵施設用地としての提供・契約を調整する町有地、県有地、国有地等	約288ha (18.0%)	<参考> 約1,452ha (90.8%) (連絡先把握済みの1,960人に対する割合は、89.7%)

※1 国、地方公共団体を含む。
 ※2 民有地1,757人、公有地2人。

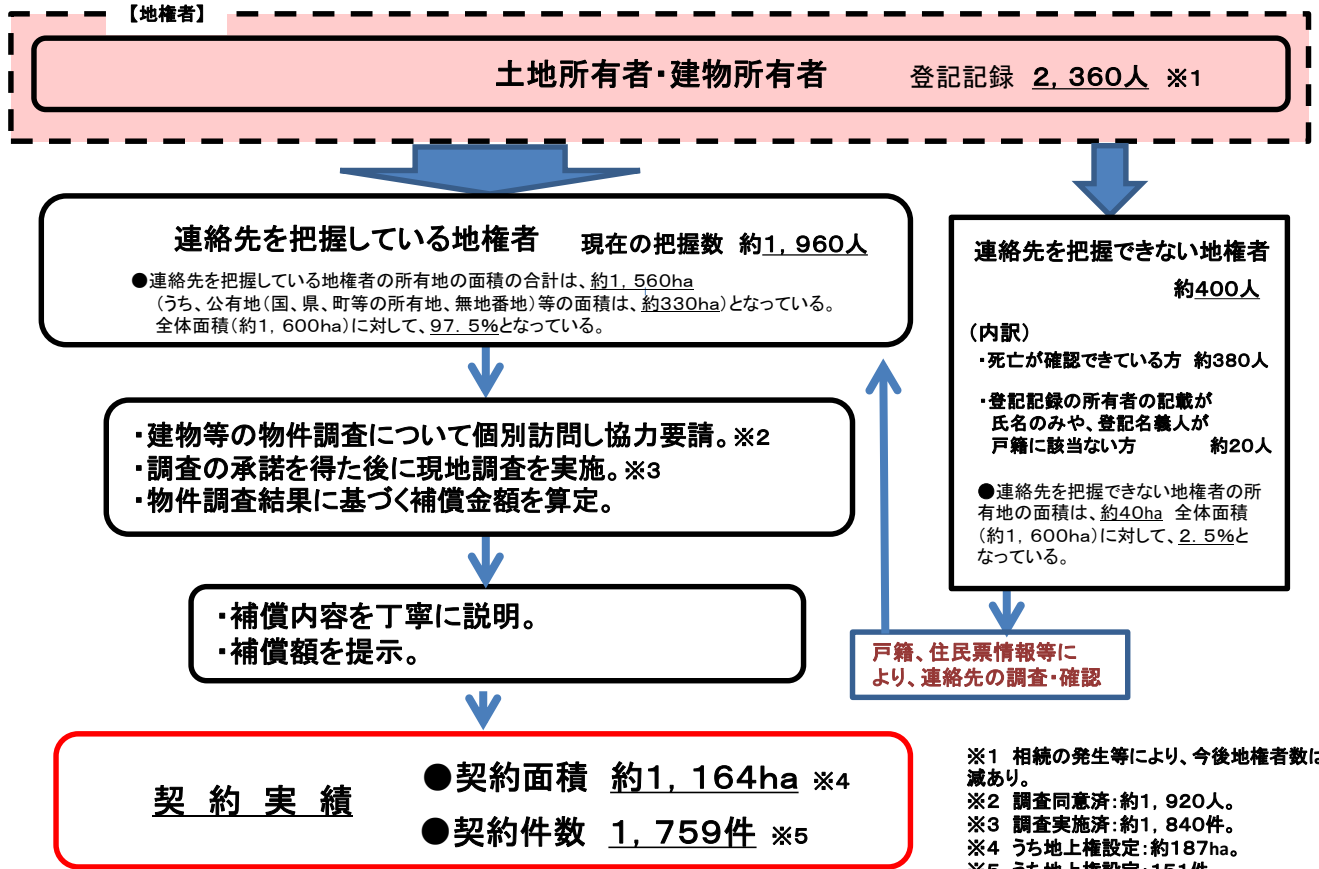
(注)端数処理の関係により合計が一致しない場合がある。

(注)契約済におけるカッコ内の数字は、前月末からの増加分を表す。

<参考>

地権者の状況について

2020年3月末時点



※1 相続の発生等により、今後地権者数は増減あり。
※2 調査同意済:約1,920人。
※3 調査実施済:約1,840件。
※4 うち地上権設定:約187ha。
※5 うち地上権設定:151件。

(注) 数値については概数であるため、合計と一致しない場合がある。